

堆肥化事業の成果

生ごみ処理量と堆肥生産量

| | 処理量 | 生産量 |
|--------|--------|-------|
| H15 年度 | 877 トン | 5 トン |
| H16 年度 | 684 トン | 33 トン |
| H17 年度 | 732 トン | 19 トン |
| H18 年度 | 792 トン | 35 トン |

モデル地区堆肥配付実績

| 配付時期 | 配付量 | 申込世帯 | 配付条件 |
|-------------|-------|----------|---------|
| H17 年 3・4 月 | 7 トン | 1,200 世帯 | 6kg まで |
| H18 年 7・8 月 | 27 トン | 870 世帯 | 30kg まで |
| H19 年 3・4 月 | 23 トン | 1,150 世帯 | 20kg まで |
| H20 年 2 月 | 11 トン | 1,060 世帯 | 10kg まで |

堆肥成分分析結果

| 特殊肥料名称 | 水分 | 窒素 | リン酸 | カリ | 石灰 | C/N比 | 原料 |
|--------|-------|------|------|------|-------|------|--------------------|
| 大地くん | 42.8% | 2.0% | 1.8% | 1.9% | 16.8% | 9.7 | 生ごみ 100% |
| 大地くん 2 | 29.9% | 2.4% | 1.3% | 1.6% | 7.9% | 12.2 | 生ごみ 80% 剪定枝 20% |

平成 19 年 11 月に専門家の方に、モデル地区たい肥使用状況アンケート結果と大地くん 2 号の評価についてお伺いしました。「剪定枝の繊維分が入るようになったので、臭いの問題も改善され、以前のものより良い堆肥となった。ただし、良い堆肥だからといって使い方を間違えると作物を枯らすこともあるので、使用上の注意は守ることが大切。」とのご意見をいただきました。

堆肥の施用・農産物販売の状況

久喜宮代衛生組合管内の農家のご協力をいただき、2 年間に渡り 10 箇所の圃場に堆肥を施用して試験栽培を行いました。栽培された農産物の一部は販売ルートに乗り、平成 19 年秋の収穫米（コシヒカリ）の一部は、宮代町の新しい村の直売所で「環境こだわり農産物」として販売しました。（380 円/キロ）

野菜は、コマツナ、ブロッコリー、ほうれん草の栽培をお願いし、平成 18 年度の報告では、宮代町新しい村の直売所での販売や、ハウス栽培のコマツナは、久喜市内の J A 直売所やスーパーで販売したほか学校給食にも使われました。